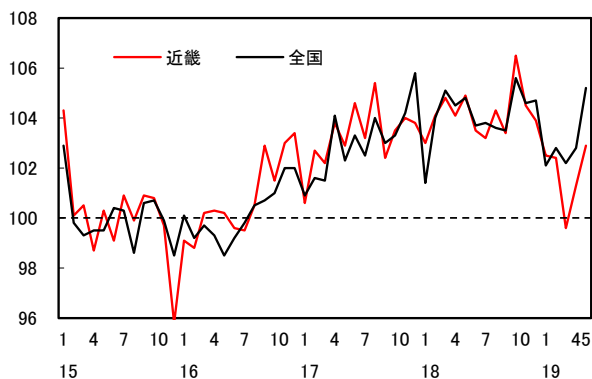


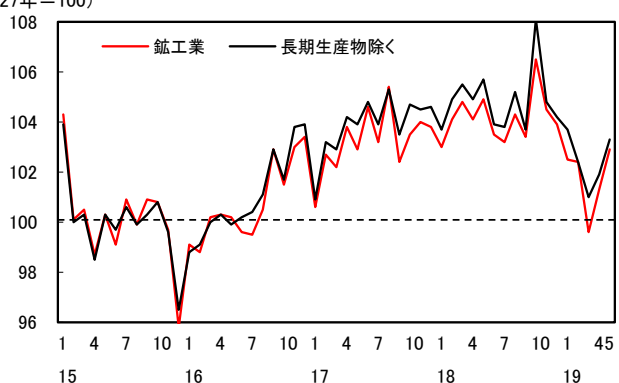
## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（19年5月）】

- 19年5月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（季節調整値）は2か月連続の増加となった。業種別には、生産機械や情報通信機械、輸送機械と、幅広い業種で増加がみられる。米国による追加関税などに備えた前倒し生産の可能性もあり、今後の推移が注目される。一方、蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、2か月連続の増加となっている。
- 在庫循環の動きをみると、今月も前月と同様に、積み上がった在庫を減らすために企業が出荷を減らすという「在庫調整局面」となっている。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、電機・電子部品は急激な減少の後、少し持ち直したものの、依然として水準は低い。米中貿易摩擦に加え、ファーウェイ問題も電機・電子部品の生産減につながる恐れが高いため、引き続き注意が必要とみられる。

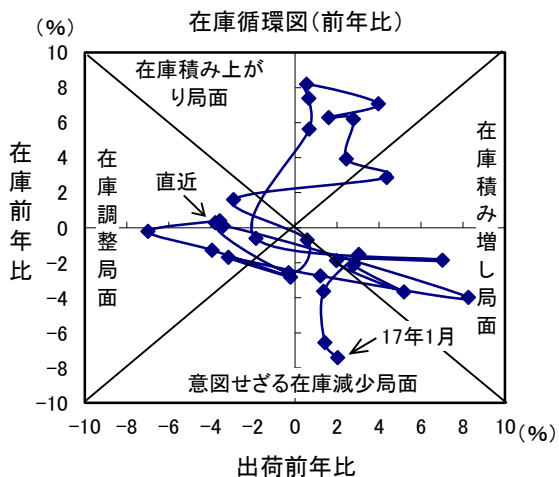
(H27年=100) 鉱工業生産指数の推移(季節調整値)



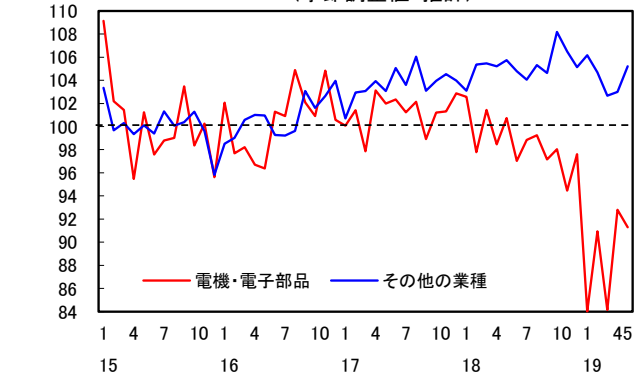
(H27年=100) 【関西】長期生産物を除いた生産指数(季節調整値)



(出所)経済産業省



(H27年=100) 【関西】電機・電子部品および、その他の業種の推移(季節調整値・推計)



(出所)経済産業省統計をもとに、りそな総研作成  
※電機・電子部品・・・電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業の加重平均  
※その他の業種・・・上記3業種を除いたすべての業種

※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。